

# 秋田県教職キャリア指標について

(令和5年2月改訂)

## 1 教職キャリア指標の策定の経緯

県教育委員会では県内の教職課程を有する大学や市町村教育委員会の関係者からなる秋田県教職キャリア協議会を毎年度開催し、教育を取り巻く様々な状況の変化に応じて指標の検証や改善等を行い、教職員研修の更なる充実に取り組んでいます。

近年、学校現場では、教員の大量退職・大量採用などによる年齢構成や経験年数の不均衡が生じ、従来の学校組織において経験豊富な教員から若手教員への知識や技術等の伝達が困難になるなど、教員を巡る環境は大きく変化しています。また、グローバル化、情報化の進展等、社会の急速な変化を踏まえた新しい時代の教育への対応が求められています。

このような状況に対応し、学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、主体性を発揮しながら、個別最適で協働的な学びにより教職生涯を通じて学び続けるといった、新たな教師の学びを実現する観点から、秋田県教職キャリア協議会で協議し、既存の指標の改定と校長及び園長向けの指標の策定を行いました。

## 2 秋田県教職キャリア指標の構造

本県の指標は、次の項目で構成されており、養成・採用・研修の一貫した教員育成システムと各ステージで求められる資質能力を示すことで、キャリア全体を俯瞰しながら自らの目指すべき姿を認識することができます。

- 1 高等学校段階からの教員養成の取組や採用段階で求められる人材像
- 2 全てのキャリアステージにおいて教員に求められる基礎的素養
- 3 「マネジメント能力・生徒指導力・教科等指導力」に分類した基本的な資質能力と、それらを活用して解決すべき本県の教育課題
- 4 各キャリアステージで身に付けるべき能力の指標
- 5 県内の教職課程を有する大学との連携事業や受講が必要な研修等

## 3 本県の教員育成課題の解決に向けて

若手教員の指導力向上を重点的に図るため、若手教員向けの研修を「初任者研修→実践的指導力習得研修（採用2、3年目）→教職5年目研修→実践的指導力向上研修（採用8年目）→中堅教諭等資質向上研修（採用11年目）」として、指標の「第1ステージ（実践的指導力習得期）」から「第3ステージ（実践的指導力充実期）」に位置付け、長期にわたる段階的な研修を実施することにより、確実な資質能力の向上を目指します。